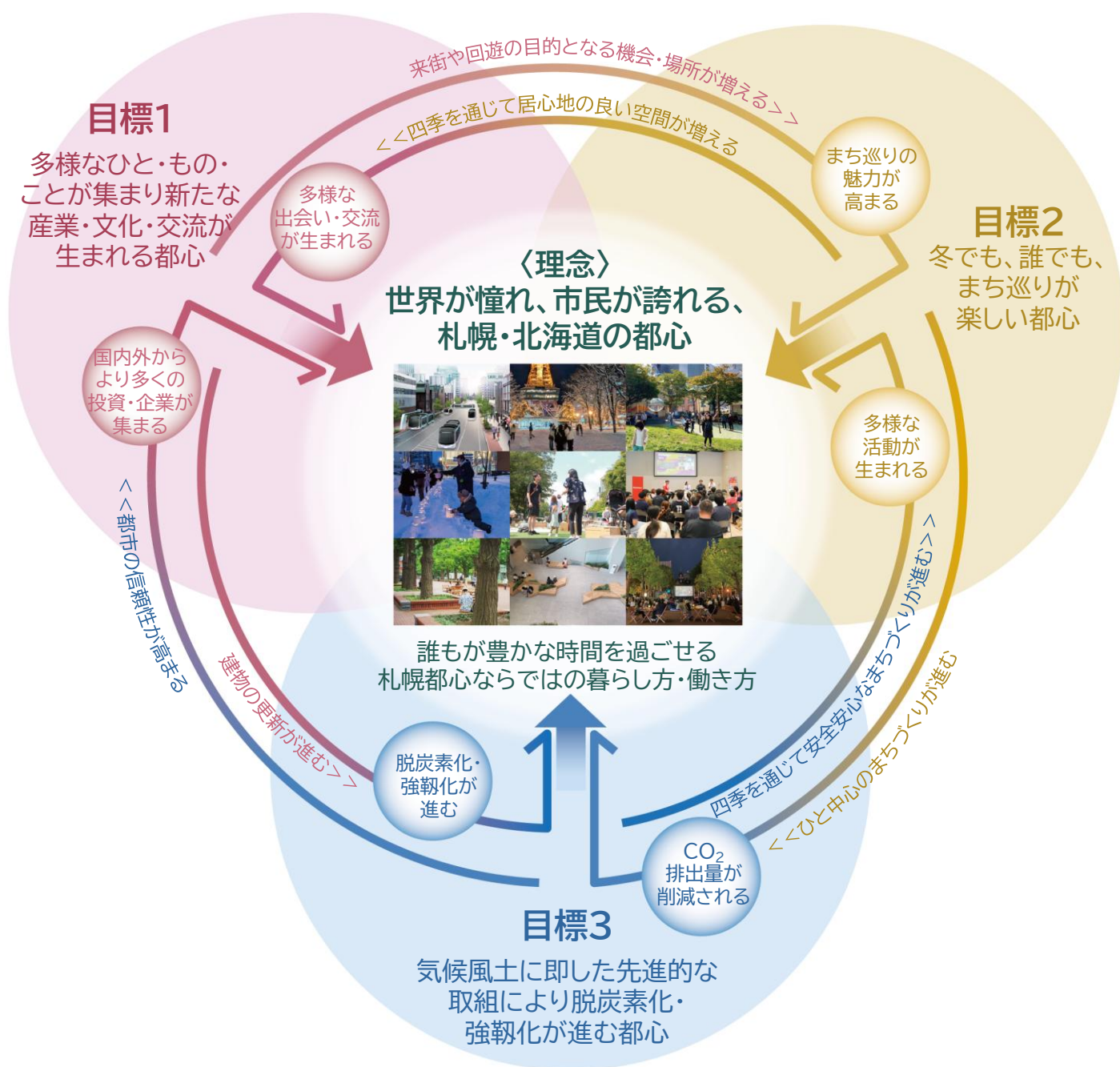


3 理念・目標と都心の構造

理念・目標

- 本計画では、これまでの都心まちづくり計画で示してきた「世界」・「市民」という二つの視点を踏襲し、都心まちづくりの理念を『世界が憧れ、市民が誇れる、札幌・北海道の都心』と設定します。
- その理念を実現するため、特に注力をしていく三つの『都心まちづくりの目標』を設定します。
- 三つの目標は独立しているのではなく、相互に関連しているため、一体的に取り組むことで四季の魅力に富んだ、誰もが豊かな時間を過ごせる札幌都心ならではの暮らし方・働き方を可能にし、理念の実現につなげます。



都心の構造

- 本計画では、都心におけるまちづくりとエネルギー施策の一体的かつ効果的な推進を図るため、『今後の都心まちづくりを進める上での最も重要な基本要素』として、軸と拠点からなる『骨格構造』と、エネルギーネットワークなどエネルギー利用に関するエリア特性を捉えた『エネルギー施策のエリア区分』を設定します。
- 骨格構造では、骨格軸の端点における拠点的な都市機能導入の可能性と、それに伴い進めているエリアまちづくりの動きを踏まえ、地域特性を生かしたまちづくりを重点的に展開するため、新たに「展開拠点」として二箇所を位置付けます。
- さらに、あらゆる場所でエリアまちづくりを推進するため、都心全体を隙間なく、地域資源や土地利用の現況を踏まえた特性ごとに整理した『まちづくりゾーン』を新たに設定します。

今後の都心まちづくりを進める上での最も重要な基本要素

〈骨格構造〉



骨格軸

：先導的な取組によって周辺街区への面的な波及や地区間の連続性を高める都心まちづくりの基軸

交流拠点

：多様な機能や活動が集積・連鎖することで新たな価値と交流を創造する、札幌都心の象徴的な拠点

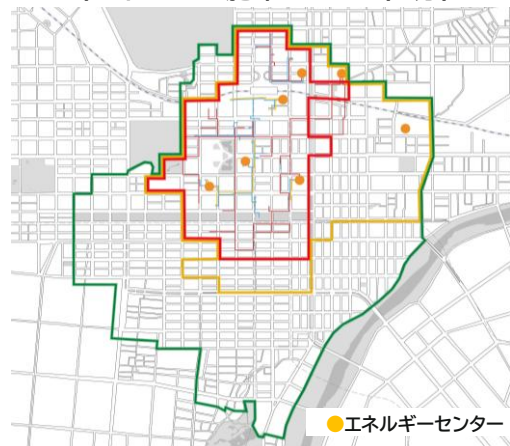
展開軸

：骨格軸と連携しながら地区間の連続性を生み出す基軸

展開拠点

：骨格軸と連動しながら新たな活動・交流を育む拠点

〈エネルギー施策のエリア区分〉



進捗管理区域(約460ha)

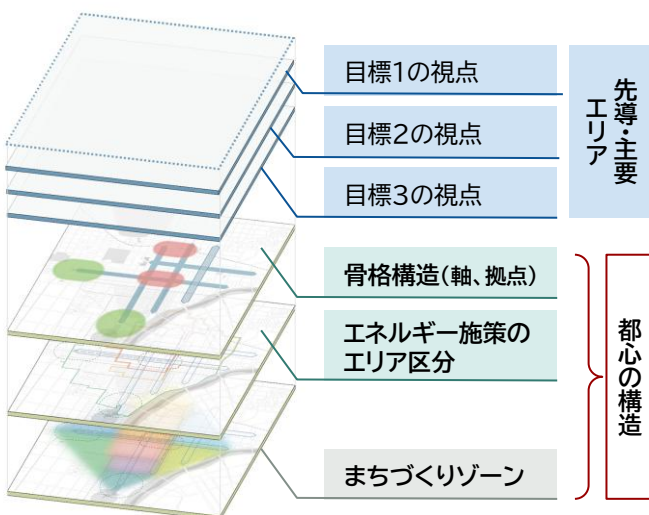
：小規模な建物や既存の建物も含めて脱炭素化を促進するために、都心のエネルギー利用に関する進捗管理を行う区域

脱炭素化推進エリア(約240ha)

：建物の更新や面的開発の機会を捉え、最適な手法の組合せにより脱炭素化を推進するエリア

脱炭素化・強靱化先導エリア(約140ha)

：既存のエネルギーネットワークの積極的な活用による脱炭素化の実現と強靱性の確保により、世界から信頼される持続可能な都心に向けた取組を先導するエリア



〈まちづくりゾーン〉

